

奥田喜久男の

# 千人回峰

2018年  
総集編

人には物語がある。

感動は物語を生み、人は共鳴する。  
そして、さまざまな示唆を得る。  
今年も物語を紡げたらどうか。  
人生を織りなす縦糸、横糸。  
一本一本紡げたらどうか。  
“千人”の回峰は“千”の物語を生む。

207  
人目



ライフイステック  
代表取締役CEO

**水野雄介**  
Yusuke Mizuno

目指すは、今世紀の教育改革。21世紀の福澤諭吉になりたいと思っています  
他者を幸せにしないと自己は満足できない。

『週刊BCN』vol.1724 (4 / 23) 『週刊BCN』vol.1725 (4 / 30・5 / 7)

208  
人目



メルコホールディングス  
元会長

**牧 誠**  
Makoto Maki

「挑戦」の5年間  
闘病中に伝えたかったこと  
「出来ない」ではなく、「出来る」ために何が必要かだ。

『週刊BCN』vol.1726 (5 / 14)

199  
人目



東芝エネルギーシステムズ  
統括技術長

**佐々木 隆**  
Takashi Sasaki

製品開発に欠かせない基盤技術を  
維持しつつ新たな技術の潮流に挑む  
「匠の技」のような特殊技能がなくてもできる設計を。

『週刊BCN』vol.1708 (1 / 1) 『週刊BCN』vol.1709 (1 / 8)

203  
人目



北九州市海外水ビジネス推進協議会  
顧問、エース・ウォーター 顧問

**森 一政**  
Kazumasa Mori

蛇口の向こうに膨大な世界が広がる  
水ビジネス  
水道事業は人材育成が一番。

『週刊BCN』vol.1716 (2 / 26) 『週刊BCN』vol.1717 (3 / 5)

209  
人目



ミス日本協会 理事  
能楽金春流シテ方核問会 顧問  
日本の寺子屋 副理事長

**加藤和郎**  
Kazuro Kato

いろいろな人に使われたことで、  
マスコミの醍醐味を味わえました  
大切にしているのは六つの眼と反射率。

『週刊BCN』vol.1726号 (5 / 14) 『週刊BCN』vol.1727 (5 / 21)

200  
人目



FC今治 オーナー  
今治.夢スポーツ代表取締役会長  
日本サッカー協会 副会長

**岡田武史**  
Takeshi Okada

腹をくくる。ジョホールバルの歓喜も  
FC今治への道もこの瞬間から始まった  
ぼくらは売ることがない。夢や感動や共感で貢献。

『週刊BCN』vol.1710 (1 / 15) 『週刊BCN』vol.1711 (1 / 22)

204  
人目



早稲田大学 名誉教授  
情報科学国際交流財団 理事長  
情報オリンピック日本委員会 理事長

**筧 捷彦**  
Katsuhiko Kakehi

プログラミングに必要なのは、  
みつけて組み合わせで試してみること  
懸命に知恵を絞るというやりとりが、実におもしろい。

『週刊BCN』vol.1718 (3 / 12) 『週刊BCN』vol.1719 (3 / 19)

210  
人目



インターコム  
代表取締役会長 CEO

**高橋啓介**  
Keisuke Takahashi

「ワクワクドキドキ」を感じるために  
新しいアイデアを出し続ける  
ものづくりこそが会社を牽引し成長させる。

『週刊BCN』vol.1728 (5 / 28) 『週刊BCN』vol.1729 (6 / 4)

201  
人目



MetaMoji  
代表取締役社長、代表取締役専務

**浮川和宣、浮川初子**  
Kazunori Ukigawa, Hatsuko Ukigawa

技術の力で「現場」を支援し、  
新しいITビジネスの市場を開く  
ワープロを創造した技術が唯一無二のアプリを生む。

『週刊BCN』vol.1712 (1 / 29) 『週刊BCN』vol.1713 (2 / 5)

205  
人目



サイオス  
代表取締役社長

**喜多伸夫**  
Nobuo Kita

イノベーションは変化を起こすための  
機動力だ！  
意識改革のない会社は衰退する。

『週刊BCN』vol.1720 (3 / 26) 『週刊BCN』vol.1721 (4 / 2)

211  
人目



日本郵政  
経営企画部門広報部  
日本郵政グループ女子陸上部 監督

**高橋昌彦**  
Masahiko Takahashi

すべての経験にムダはない  
どこかで誰かが必ず見ている  
ちょっとしたエキスが選手の努力と化学反応を起こす。

『週刊BCN』vol.1730 (6 / 11) 『週刊BCN』vol.1731 (6 / 18)

202  
人目



ソニービジュアルプロダクツ  
TV事業部 開発設計部門  
商品開発部 統括部長

**小野芳裕**  
Yoshihiro Ono

うれしかった「ソニーらしい商品」と  
いう評価 受け継いでいるDNA  
「何をつくりたいか」からスタートする。

『週刊BCN』vol.1714 (2 / 12) 『週刊BCN』vol.1715 (2 / 19)

206  
人目



富士通アメリカンフットボール部  
富士通フロンティアーズ  
ヘッドコーチ

**藤田 智**  
Satoshi Fujita

目の前の「今に集中」することが  
大きな目標の達成を可能にする  
必ずしもvery bestが、ベストではない。

『週刊BCN』vol.1722 (4 / 9) 『週刊BCN』vol.1723 (4 / 16)

212  
人目



スマートニュース  
執行役員 メディア事業開発担当

**藤村厚夫**  
Atsuo Fujimura

旧来のビジネスモデルをリセットし  
21世紀型のメディアの仕組みを構築する  
新しいメディア産業のエコシステムを構築する。

『週刊BCN』vol.1732 (6 / 25) 『週刊BCN』vol.1733 (7 / 2)

213  
人目AOSデータ  
代表取締役社長**春山 洋**  
You Haruyama

**必要な人に必要なものを“正しく”  
売る** これが“三方よし”の神髄だ  
営業担当者は「売った責任」を負っている。

『週刊BCN』vol.1734 (7/9) 『週刊BCN』vol.1735 (7/16)

217  
人目皇學館大学大学院  
特別教授 宗教学者  
日本宗教学会常務理事**櫻井治男**  
Haruo Sakurai

**フィールドワークを通して  
社会的観点から神社や祭りを捉えたい**  
神仏分離論と廃仏毀釈は分けて考えるべき。

『週刊BCN』vol.1742 (9/10) 『週刊BCN』vol.1743 (9/17)

221  
人目特定非営利活動法人  
日本文化芸術国際振興協議会  
代表理事**岩崎究香**  
Mineko Iwasaki

**祇園で学んだ心得はビジネスの  
世界にも通じます**  
「ぶぶ漬けでもどうぞ？」は最大のおもてなし。

『週刊BCN』vol.1750 (11/5) 『週刊BCN』vol.1751 (11/12)

214  
人目東京理科大学大学院  
経営学研究科技術経営専攻  
教授・専攻主任**若林秀樹**  
Hideki Wakabayashi

**独創的な要因分析を駆使して日本の  
電機メーカーの復活に尽力**  
「経営重心」で企業の本質を見る。

『週刊BCN』vol.1736 (7/23) 『週刊BCN』vol.1737 (7/30)

218  
人目名古屋OJA  
代表取締役社長**片桐正大**  
Masahiro Katagiri

**スポーツ産業のビジネスセンスで  
日本のeスポーツの発展を期す**  
無形の価値を作り、新たな枠組みを編み出したい。

『週刊BCN』vol.1744 (9/24) 『週刊BCN』vol.1745 (10/1)

222  
人目山東師範大学  
情報システム室 室長**劉 方愛**  
Liu Fangai

**しっかりした基礎があれば  
学生の潜在力は自在に引き出せる**  
基礎から一步一步積み上げる。人生も同じだ。

『週刊BCN』vol.1752 (11/19)

215  
人目

長野市 市長

**加藤久雄**  
Hisao Kato

**時代に合わせた柔軟な変化が  
ビジネスにも政治にも不可欠だ**  
事業を始めるよりやめるほうが難しい。

『週刊BCN』vol.1738 (8/6・8/13) 『週刊BCN』vol.1739 (8/20)

219  
人目

六兵衛 店主

**木内 浩**  
Hiroshi Kiuchi

**家業の暖簾を守りながら  
世界を相手に戦う人生があってもいい**  
サポーターのおかげで、自分の力が引き上げられた。

『週刊BCN』vol.1746 (10/8) 『週刊BCN』vol.1747 (10/15)

223  
人目WebDINO Japan  
代表理事**瀧田佐登子**  
Satoko Takita

**「こうあるべき」と決めてしまえば、  
そこで進化は止まってしまう**  
回遊魚のように、止まっていることに耐えられない。

『週刊BCN』vol.1753 (11/26) 『週刊BCN』vol.1754 (12/3)

216  
人目ハイスセンスジャパン  
代表取締役社長・CEO  
東芝映像ソリューション 取締役社長**李文麗**  
Vivienne Li

**企業の競争力はスピードと効率  
その前提で着実に改革を進める**  
「言うだけでなく、やりなさい」。思想の転換を促す。

『週刊BCN』vol.1740 (8/27) 『週刊BCN』vol.1741 (9/3)

220  
人目ソフォス  
代表取締役**中西智行**  
Tomoyuki Nakanishi

**カントリーマネジャーとして再び  
パートナービジネスに挑む**  
会社の看板に頼らず、勝負できる存在でありたい。

『週刊BCN』vol.1748 (10/22) 『週刊BCN』vol.1749 (10/29)

224  
人目ネットワーク  
代表取締役社長**森田晶一**  
Shoichi Morita

**未来永劫のビジネスはない。だから、  
次の10年を見据えた「絵」を描く**  
社長の仕事はシナリオを書くプロデューサー。

『週刊BCN』vol.1755 (12/10) 『週刊BCN』vol.1756 (12/17)

こぼれ話

番外編

最後まで、何があるかわからない。12月16日の午後5時55分の出来事である。翌日の早朝には、成田空港から上海の浦東空港に出かける予定がある。いつものように、出張先の環境とスケジュールをイメージしながら旅先で必要なものをパッキングする。旅はこの段階から始まっている。毎回、この時間は旅先で起こる具体的なシーンを思い浮かべながら神経を集中する、至福の時でもある。小学生の頃に経験した、遠足前日のワクワクしながら不安もよぎる心地よさから抜け出せない私、といった図である。携行すべきものはほぼパッキングした。重量を確認しようと、キャリーケースを持ち上げた。その瞬間、「パキッ」と腰の辺りで音がしたような…。気のせいだったのかも分からないが、パキッの音とともに激痛が走って全身が硬直した。世に言うぎっくり腰だ。

「ああ、やっちゃった」。冷や汗が噴き出るとともに「明日、上海に行けるかなあ。

いや、行かないといけない」の交錯する思いが頭の中を駆け巡った。今回の旅は「何があっても上海に行く」と決めた瞬間から初体験の連続が始まった。もちろん遠征はした。が、節目には外せないことがある。これは年が明けたら古希を迎える自分の前夜の課題だと思って、上海に行くための工程表を引いた。私は成田空港とアクセスのよい京成上野駅の辺りに住んでいる。まずは直通特急の切符のキャンセルからだ。次は成田空港までのタクシーを確保しなければならない。電話が繋がらない状態が続く、繋がっても予約はいっぱい。さて困ったぞ。そうこうするうちに、昔お世話になった日本交通の運転手の方の名前を思い出した。「では、明朝、お宅の前まで行きますよ」。ひと安心だ。

成田空港に到着して車椅子を借りた。ああ、これが車椅子なんだ。身体に障がいのあるバスケットボールの選手が器用に扱っているな。ここに足を乗せるんだ。

ブレーキもある。中国東方航空のカウンターで、ビジネスクラスにアップグレードした。1万円也。「空いてよかった」。係りの方に車椅子を押してもらって手続きを終え、スイスイと搭乗口へ。そして飛行機のシートに座った。「これで上海まで行ける」。浦東空港に着いた。到着空港にはすでに連絡してあったようだ。ここでも優先通路を使い、係員に車椅子を押してもらってタクシー乗り場まで。やれやれ、何とか無事にホテルに着いた。

翌日からは車椅子の世界を体感することになった。夜の食事会の場所に到着。2階席だ。エレベーターはない。どうしたものかと困っていたら、その日の仲間がやってきて、数人で車椅子を持ち上げた。帰りも“当たり前の顔”をして私を持ち上げて運んでくれた。人の優しさがしみじみ嬉しかった。照れ臭くもあった。明日は上海から東京に帰る。ワクワクしながら、不安もある。小学生の頃と同じ自分が頭の中に



いる。「お〜い」と声をかけたくなくなった。初めての体験は新鮮だ。国を越えて共通する人の思いやり、連携した世の中の仕組みに感動し、受けた恩恵のおかげで幸福感にも満ち溢れている。今回の出来事は、古希になっても緊張の糸を切らさぬよう日々を生きなさいという、神様からの贈り物かもしれない。

【注】登場していただいた方々の肩書きは取材当時のものです。